

事業名		第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略	
事業の概要		本事業は、「第2期銚田市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン及び総合戦略」に基づき、少子高齢化や東京圏への一極集中等により、人口減少が進んでいる現状を克服するため、地方創生の取り組みとして、まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立を目指した総合戦略を策定し、4つの戦略目標に基づいた関連する事業を展開しています。 【戦略目標】 ①しごとの創生…農業を中心に産業の活性化を図り、安定した雇用を創出する ②ひとの創生（社会動態）…ひとの地域内への還流と新たなひとの流れを創造する ③ひとの創生（自然動態）…若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえる ④まちの創生…自然溢れる環境で、健康・安心・便利な暮らしを実現する これら4つの戦略目標を実現するため、本市の現状と課題を踏まえ、基本目標と基本施策を設定し、個別戦略を定め、農業のブランド力の向上や地方移住の促進、子育て世帯が住みやすい環境づくり等、さまざまな事業を展開しています。	
第2期銚田市まち・ひと・しごと創生総合戦略進捗状況についての意見			
意見		意見内容	
意見有	2	・【しごとの創生】 農業については、銚田市の基幹産業であること、すでにブランド力があることなどを、今後どのように発展・展開していくかが重要であると考えます。その点から、多くの取組が成果を上げているのではないのでしょうか。 しかしながら、農業の担い手という部分においては、さらに推進していかなければならないと思います。新規就農者が110.4%となっていますが、給付金は14名に留まっています。今後、銚田市のブランドを維持していくためには、農業の法人化を図っていくことも検討していかなければならないのではないのでしょうか。 ・【ひとの創生】 関係人口や滞在人口を増加させていくことが、移住・定住を促進させていく1つの要因になることは間違いないことだと思います。 そのためにも、観光客入込数については、銚田市を観光目的とした数と二次的な目的にした数に分けて分析する必要があるのではないのでしょうか。そのことによって施策の内容が変わってくるのではないかと思います。 また、農業体験の実施率については、81.8%の実績値となっていますが、学校が行っている学校行事の結果をこの戦略の実績としていないのでしょうか。学校としては、この戦略のために農業体験をしているという意識はあまりなく、学習指導要領や学校教育指導方針に基づいて行っています。 学校側への積極的な働きかけとそのための方策を提示すべきだと思います。 ・【まちの創生】 地域コミュニティの再生のために多くの施策を実施していると感じます。 しかしながら、小学校の統合が進み、子供会の解消などが大きな問題となっているのではないかと思います。子育て世代のつながりが「まちの創生」につながるのではないのでしょうか。 その意味でも、学校運営協議会や部活動に地域移行については、首長部局にもっと関わっていただきたいと切に願います。 ・若い世代の結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえるのところですが、国や自治体が行う支援は、結婚や子育てを前提にしたものでどこも似たりよったりとの印象があります。もちろん必要な施策ではあるけれど、結局は隣接する自治体同士の子育て世帯の取組み合いになっているだけで、根本的な解決になっていないように思います。 ・単身女性へのサポートや女性や若者が働きやすく暮らしやすい地域づくり、1人ひとりが多様な幸せを実現できるやさしいまちかどうか、再度確認してください。	
意見無	10		